

# 令和6年度 日吉中学校 学校教育目標について

## 未来に夢をもち、自立する生徒の育成

～自律・尊重・創造の力を身に付ける教育活動を通して～

(教育目標のとらえ)

「未来に夢をもち」…将来の夢や自分はこうありたいという可能性に期待感をもって  
「自立する生徒」……主体的・自立的な生き方を (自律・尊重・創造の力の習得)

### 「未来に夢をもち、自立する生徒」を育てる

『技術革新の一層の進展、超スマート社会の到来により、変化が激しく予測困難な社会を子どもたちが心豊かで力強く生き抜くために、確かな学力や豊かな心の育成、健康でたくましい体づくりの取組が一層求められています。』

日吉中学校では、どんな社会であろうとも必要となる「主体的・自立的な姿」とそれを支える「自律・尊重・創造」の力を身に付けさせることを目指します。

そのため、教育活動の中で、生徒自身が選択し、判断し、決定し、実践し、振り返って、改善していく過程を大切にする機会を与えます。そういった経験を通して、自分の生き方を真剣に考え「未来に夢をもち、自立する生徒」を育てていきます。

### 目指す生徒像

#### 【社会で必要になる6つのスキルを持った生徒】

#### 「自律」

自分で考え、判断し、行動する。自分の行動に責任を持つ

TPOに応じた挨拶・礼儀・言葉遣いができる

時間を守って計画的に行動できる  
(学校生活の様々な場面で・家庭学習も含めて)

#### 「尊重」

多様性を受け入れて、他者を思いやり大切にする。

感情をコントロールし、他者の立場に立って考えることができる

意見の対立や理解の相違を自分たちで解決できる

#### 「創造」

自分たちの生活を、自分たちの手でよりよくしようと工夫する

信頼できる情報を収集・処理し有効に活用できる (スマホ・タブレットの使用等)

ルールをふまえて建設的な主張ができる

生徒自身が選択し、判断し、決定し、実践し、振り返って、改善していく過程を大切にする。

# 令和6年度 日吉中学校 学校経営方針

## <目指す生徒像>

### 「自律」「尊重」「創造」社会で必要となる力

- ① TPOに応じた挨拶・礼儀・言葉遣いができる
- ② 時間を守って計画的に行動できる
- ③ 感情をコントロールし他者の立場に立って考えることができる
- ④ 意見の対立や理解の相違を自分たちで解決できる
- ⑤ 信頼できる情報を収集・処理し有効に活用できる
- ⑥ ルールをふまえて建設的な主張ができる

### 6つのスキル

## <質の高い魅力的な教育活動の創造>

### ※キーワード:「自律」「尊重」「創造」

- 1 社会で再現できる学び方の習得
  - (1) 基礎学力の定着と学力向上
    - 「対話のルール」を軸にした学習活動
    - 「タブレット端末」を活用した授業の改革
    - 「思考ツール」「プレゼン技術」の習得 (タブレット等)
    - 「質問」「提案」ができる協働的な学び
  - (2) 授業の工夫改善 (校内研修・研究を通して)
    - 講師招聘による学びの実施
    - 各学年で年度1回の公開授業等の実施
    - 各種学力検査・調査等の分析と活用
    - 授業のUD化の視点から
  - (3) 社会で通用する創造力と人間関係スキルの習得
    - 「6つのスキル」とリンクした総合的な学習の時間の指導 (外部講師や職場体験とのリンク等)
    - 社会における自己の生き方を考える場の設定
- 2 多様性を受け止め、他を尊重する資質の育成
  - (1) 人権教育と自治的活動の充実
    - 人権学習の充実・「人権シリーズ」の活用
    - 生徒会活動の活性化 (自治力・自浄力の育成) →自分たちの生活を自分たちの手でよりよくする
  - (2) 道徳教育の充実
    - 価値項目の重点化を行い、授業の実施
  - (3) 教育相談の充実
    - 教育相談週間の実施と生徒一人一人の思いに寄り添う

## <熊本市教育大綱基本理念>

豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む

## <令和6年度日吉中学校の学校教育目標>

未来に夢をもち、自立する生徒の育成  
～自律・尊重・創造の力を身に付ける  
教育活動を通して～

生徒自身が選択し、判断し、決定し、実践し、振り返って改善していく過程を大切にす。

- 1 学校評価の視点
  - (1) カリキュラムマネジメント
    - 教育課程の質 (内容の質・指導の質・継続学習)
    - 相談室の運営
  - (2) 組織マネジメント
    - 管理職のリーダーシップと教職員の役割
    - 組織運営の質 (事務処理の正確性、効率化)
- 2 自己評価の質の向上
  - (1) PDCAサイクルの実現 (特に、「P」の重視)
    - 全国学力状況調査の活用・分析 (特に生徒質問紙)
    - 授業公開による授業分析・生徒の意識調査
- 3 小中一貫教育の研究と実践の継承
  - (1) 学校運営協議会の組織化
    - 小中一貫を目指した当事者意識の強化
    - 「日吉の成長ものさし」「小中一貫カリキュラム」をもとに実践の継続
- 4 リスクマネジメント
  - (1) 生徒への指導 (部活動指導を含む) のあり方 →変化が求められる時代
  - (2) 不祥事防止
  - (3) いじめへの対応 (「8つのポイント」の徹底)
  - (4) 不登校への対応
  - (5) 生徒の病気、けがへの対応 (6) 保護者対応

## <目指す教師像>

### 「自律」「尊重」「創造」生徒の成長を願って

- 心身ともに健康に過ごす: 在校時間等のセルフマネジメント
- 確実に指導力を身に付ける: 教科指導・生徒指導・学級経営
- 人権意識・人権感覚の向上: 共感的生徒理解・適切な言葉遣い
- 不祥事根絶と危機管理意識の向上: 「法令遵守」「報・連・相」
- 共に学び合う・高め合う・支え合う同僚性と創造力の発揮

## <質の高い効率的な組織運営の実現>

### ※キーワード:「自律」「尊重」「創造」

- 1 教職員個々のスキルアップ
  - (1) 徹底したOJTの推進
    - 教科部会の充実 (教材分析・授業分析)
    - タブレット端末等「学びのツール」の研修・活用
    - 学級活動を利用した学級経営・進路指導・生徒指導の技術力向上 →年間指導計画の作成・実践・評価
    - 人間関係調整力の向上 (外部との折衝・連携)
- 2 組織的な学校運営の実現
  - (1) 報告・連絡・相談の徹底
    - いじめに関しては「8つのポイント」の徹底
  - (2) 教職員の人権感覚の向上
  - (3) 予算執行管理の徹底とコスト意識の高揚 (時間と経費)
  - (4) 校務分掌や学校運営に関する創意工夫の奨励  
視点:「子どもが育つ働き方改革」の視点を重視
    - ※学校教育目標の達成を妨げないか
    - ※子どものためになるか
    - ※保護者や地域の理解は得られるか
    - ※リスクは乗り越えられるか
  - (5) 服務規律の徹底とマナーの向上
    - 同僚性の発揮 (不祥事根絶)
    - ビジネスマナー・接遇能力の向上 (電話・来客対応)